



2025年度  
第3四半期累計業績

# 2025年度 第3四半期累計 業績

---

Core営業利益

9,716 億円

△3.4% の減少 (CERベース)

△3.4% の減少 (AERベース)

事業運営における効率化の効果により  
経費が前年同期比で減少

売上収益

3兆4,112 億円

後発品による減収影響は縮小  
傾向にあり、成長製品・新製品  
の增收幅とのギャップも縮小

△2.8%

恒常為替レート  
(CER) ベース

△3.3%

実勢レート  
(AER) ベース

Core営業利益率

28.5%

財務ベース営業利益

4,224 億円

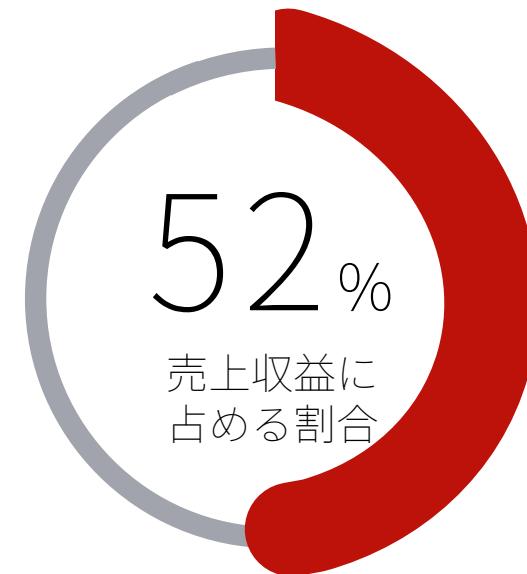
+1.2% の増加 (AERベース)

事業構造再編費用の減少が、  
無形資産の減損損失を上回って相殺

# 2025年度第3四半期累計業績

---

成長製品・新製品は+6.7% (CERベース) で伸び、売上収益全体の50%超を占めるまでに。成長率は前四半期と比べ改善



# 通期業績見通しを更新

---

## マネジメントガイダンス

Core売上収益

一桁台前半%の減少

Core営業利益

一桁台前半%の減少

Core EPS

一桁台前半%の減少

## Coreベースの業績予想

Core売上収益

4兆5,300億円

Core営業利益

1兆1,500億円

Core EPS

486円

# 後期開発パイプラインは進展



希少な血液がんの  
1つを対象とした  
治療薬候補の  
第3相臨床試験で  
良好な結果

ナルコレプシー  
タイプ1を対象と  
した治療薬候補の  
2つの第3相臨床  
試験で良好な結果

乾癬を対象とし  
た治療薬候補の  
2つの第3相臨床  
試験で良好な結果

今後18ヶ月の間に、これら3つの治療薬  
候補の上市を見込む態勢に  
新たな成長局面へ向けて前進



本プレゼンテーションには、当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。重要な注意文言を含む、当社の将来に関する見通し情報に関する詳細については、当社の2025年度第3四半期業績の投資家向けプレゼンテーション  
(<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>) をご参照ください。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品の効能を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

CERベースの増減は、当期の国際会計基準 (IFRS) に準拠した業績またはCore財務指標 (Non-IFRS) について、前年同期に適用した為替レートを用いて換算することにより、前年同期との比較において為替影響を控除するものです。ただし、超インフレが発生し、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」が適用されている子会社の業績についてはCERベースの増減調整は行わないこととし、これら子会社に係るCERベースの増減はIAS第29号に基づいて算出しています。

Core売上収益、Core営業利益、Core当期利益（親会社の所有者帰属分）、Core EPS、CER (Constant Exchange Rate : 恒常為替レート) ベースの増減、純有利子負債、調整後純有利子負債、EBITDA、調整後EBITDA、フリー・キャッシュ・フロー、調整後フリー・キャッシュ・フローは、IFRSに準拠しない財務指標です。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、当社の2025年度第3四半期決算の投資家向けプレゼンテーション  
(<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>) の末尾にある財務補足情報を参照の上、その定義と、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との調整表をご参照くださいますようお願い申し上げます。